

【会 報】

日本熱測定学会第24回通常総会

日時：1997年11月2日(日) 17:00～17:40

会場：岡山理科大学（第33回熱測定討論会会場）

総会の成立

総会出席者は委任状(222通)を含め286名、正会員・学生会員総数(819名)の4分の1を越えるので、第24回通常総会は会則第17条により成立した。

1. 1997年度事業報告(1996.10.1～1997.9.30)

(1) 会員状況

	96.10.1	入会者	退会者	97.9.30
正会員	785	47	55	777
学生会員	56	8	22	42
維持会員	38(71)	0	3(3)	35(68)

()内は維持会員口数

(2) 集会関係

- 委員会1回(つくば1回)、幹事会5回(つくば1回、静岡1回、東京2回、岡山1回)、庶務幹事会6回(つくば・静岡・大阪各1回、東京3回)、会計幹事会5回(東京5回)、編集委員会4回(静岡1回、東京3回)、企画幹事会5回(東京3回、静岡・大阪各1回)
- 第32回熱測定討論会(1996.11.27～29、つくば工業技術院共用講堂)
第17回日本熱物性シンポジウムとのJoint Meeting
発表件数 口頭発表82件
共同プログラム「固体の熱膨張」「薄膜・微小領域」
イブニングセッション「熱測定・熱物性測定におけるパラダイムの転換」
特別講演3件
参加者206名
- 第33回熱測定討論会実行委員会(岡山計3回)
- 第23回通常総会(1996.11.28、つくば工業技術院共用講堂)熱測定Vol.24, No.1(1997)p.49参照
- 第33回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(1997.1.20～22、東京)参加者62名
- 第34回熱測定講習会「微生物活性の熱測定による計測とその応用」(1997.6.28、東大阪)参加者54名
- 第35回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(1997.7.28～30、大阪)参加者65名
- 第24回熱測定ワークショップ「温度変調DSCはどこまで進んだか」(1996.12.19、東京)参加者61名
- 第25回熱測定ワークショップ「新素材開発への熱測定・熱分析の応用」(1997.9.18、厚木)参加者50名

(3) 共催・協賛関係

- 共催：International Workshop on Physical Chemistry of Gels
(主催：日本レオロジー学会他、1997.3.25、大阪)
- 協賛：第8回食品ハイドロコロイドシンポジウム(主催：食品ハイドロコロイド研究会、1997.3.26、東京)
- ：第2回TG-MS研究会(主催：TG-MS研究会、1997.5.30、東京)
- ：第19回固体イオニクス研究会(主催：固体イオニクス学会、1997.7.8、東京)
- ：高圧科学と技術に関する国際会議(主催：日本学術会議、日本高圧学会、1997.8.25～29、京田辺)
- ：第41回粘土科学討論会(主催：日本粘土学会、1997.9.17～19、福井)

(4) 出版関係

- 会誌「熱測定」の編集・発行(Vol.23, No.4～Vol.24, No.3 計228頁 各1350部)
内容：巻頭言1、論文6、総合論文2、ノート1、解説8、小特集1、熱測定応用研究の頁2、その他レポートなど15
- 英文「熱測定」の編集・発行(Vol.24, No.4, 62頁、1500部)内容：巻頭言1、論文8、その他2
- 「熱量測定・熱分析ハンドブック」出版準備出版作業WG、WG幹事会6回(東京5回、大阪1回)1998年7月、丸善より出版予定

(5) グループ活動

- 熱測定応用研究グループ(主査：中村邦雄)
会誌「熱測定応用研究の頁」に協力
第33回熱測定討論会(岡山理科大)でミニシンポジウム“企業研究開発における熱測定”を企画、口頭発表12件
- 熱力学データベース作業グループ(主査：山内 繁)
サブグループ分圧制御ソフト開発作業グループ(世話人：協原将孝)会合1回(東京)ウィンドウズ95対応を検討中

(6) 国際協力

IUPAC：松尾隆祐(阪大) I.2 化学熱力学委員会 Associate Member
ICTAC：小沢丈夫(千葉工大) 前会長
吉田博久(都立大) 理事
CODATA：山内繁(国立リハビリセンター)
Calorimetry Conference, Board of Directors：阿竹 徹(東工大)

(7) 事務局移転

オフィスソフィエルとの間で業務委託契約を締結

(8) 会費自動払込制度導入

(9) 学会ホームページの開設

<http://www.indchem.metro-u.ac.jp/jscta>

2. 1997 年度決算 (1996.10.1 ~ 1997.9.30)

収入	9,139,505	11,476,423
(1) 会費収入	5,550,000	5,756,500
正会員会費 800 名	4,000,000	4,261,500
学生会員会費 50 名	150,000	135,000
維持会員会費 68 口	1,400,000	1,360,000
(2) 事業収入	3,250,000	5,727,064
会誌発行収入	1,950,000	2,202,692
広告料	1,200,000	1,498,675
別刷代金	500,000	421,620
購読料	250,000	282,397
32 回討論会収入	300,000	815,697
33 ~ 35 回講習会収入	1,000,000	2,708,675
(3) 雑収入	160,000	98,354
(4) 名簿広告	0	515,000
(5) 特別会計より	800,000	0
(6) 前年度繰越し	-620,495	-620,495

支出	9,139,505	11,362,879
(1) 事業費	5,410,000	6,449,248
会誌発行費	4,460,000	5,513,905
印刷		1,890,063
編集		2,323,515
別刷印刷		376,342
原稿料		270,107
発送費		653,878
名簿発行費	500,000	520,450
研究グループ	80,000	59,905
WS・講演会	150,000	143,589
33 回討論会準備金	200,000	200,000
国際協力費	20,000	11,399
予備費	0	0
(2) 管理費	3,550,000	4,088,755
会議費	300,000	380,202
交通費	700,000	972,190
事務局費	2,100,000	2,015,900
通信費	250,000	330,211
消耗品費	150,000	288,866
雑費	50,000	101,386

(4) 移転経費	0	407,494
(業務移転に伴う諸手続費用)		

差引残高	113,544
前期繰越剰余金	0
次期繰越剰余金	113,544

1997 年度特別会計

熱測定特別基金	3,342,547
国際会議補助*	3,000,000
受取利息	9,240
計	6,351,787

*ICCT-96 より寄附

「次期国際会議開催のための準備金等として」

3. 1998 年度役員 (1997.10.1～1998.9.30)

○印 1998 年度・1999 年度役員

会 長

○高橋 洋一 (中央大理工)

委 員

- 青木 宏之 (岡山理科大学理)
- 安藝 初美 (福岡大学薬)
- 阿竹 徹 (東工大応セラ研)
- 稲場 秀明 (千葉大教育)
- 小椋 理子 (ソニー湘北短大) 再任
- 加藤 良三 (真空理工)
- 古賀 信吉 (広島大教育)
- 齋藤 一弥 (阪大理)
- 酒井 夏子 (物質工研)
- 塩坪 聰子 (大阪女子学園短大食物)
- 嶋田 志郎 (北大理)
- 武田 清 (鳴門教育大)
- 辻 利秀 (名大工)
- 堤 健児 (東京理工)
- 中村 邦雄 (大妻女子大家政)
- 中村 茂夫 (神奈川大工) 再任
- 中村 信隆 (セイコー電子工業)
- 西野 孝二 (島津製作所)
- 西本 右子 (神奈川大理)
- 日野出洋文 (東工大工)
- 馬越 淳 (農生資研)
- 松下 和正 (長岡技科大)
- 三橋 武文 (無機材研)
- 溝田 忠人 (山口大工)
- 村勢 則郎 (東京電機大理工)
- 桃田 道彦 (理学電機)
- 安野 佳男 (マックスサイエンス)
- 山崎 淳司 (早大理工)
- 山本 貴代 (静岡県立大薬)
- 吉田 博久 (都立大工)

会計監査

○小澤 丈夫 (千葉工大電気)

幹 事

- 稲場 秀明 (企画, 千葉大教育)
- 小椋 理子 (会計, ソニー湘北短大) 再任
- 古賀 信吉 (企画, 広島大教育)
- 齋藤 一弥 (庶務, 阪大理)
- 塩坪 聰子 (企画, 大阪女子学園短大)
- 高橋 克忠 (編集, 阪府大農)

西本 右子 (企画, 神奈川大理)

○八田 一郎 (編集, 名大工)

三橋 武文 (会計, 無機材研)

吉田 博久 (庶務, 都立大工)

編集委員

- 高橋 克忠 (阪府大農)「生物」幹事, 委員長 再任
- 八田 一郎 (名大工)「物性」幹事
- 生田 博将 (東工大工)「無機」
- 酒井 夏子 (物質工研)「高温熱測定」再任
- 花屋 実 (東工大理)「化学」
- 前田 洋治 (物質工研)「高分子」
- 山崎 淳司 (早大理工)「鉱物」再任

地域編集委員

- 北海道 土田 猛 (北大工) 再任
- 東 北 板垣乙未生 (東北大素材研) 再任
- 北 陸 増田 芳男 (新潟大理) 再任
- 中 部 松井 恒雄 (名大工) 再任
- 中 国 溝田 忠人 (山口大工) 再任
- 四 国 武田 清 (鳴門教育大) 再任
- 九 州 安藝 初美 (福岡大薬) 再任

4. 1998 年度事業計画 (1997.10.1～1998.9.30)

(1) 集会関係

- 1) 委員会1回 (岡山), 幹事会4回 (岡山1回, 東京3回), 庶務幹事会4回 (東京4回), 編集委員会4回 (東京4回), 会計幹事会1回 (東京1回), 企画幹事会5回 (東京3回, 岡山1回, 大阪1回)
- 2) 第33回熱測定討論会 (1997.11.1～3, 岡山理科大)
- 3) 第34回熱測定討論会実行委員会 (横浜5回)
第34回熱測定討論会は1998.10.28～30, 横浜 (実行委員長: 阿竹 徹) で開催予定
- 4) 第24回通常総会 (1997.11.2, 岡山理科大)
- 5) 第36回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(1998.1.20～22, 東京)
- 6) 第37回熱測定講習会「滴定カロリーメトリーの基礎と応用」(1998.5.7～8, 東大阪)
- 7) 第38回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(1998.7, 東大阪)
- 8) 第26回熱測定ワークショップ「熱容量の解析におけるベースライン」(1998.3.6, 大阪)
- 9) 第27回熱測定ワークショップ「熱量測定・熱分析の新展開」(1998.4, 横浜)
- 10) 第28回熱測定ワークショップ「Recent topics of titration

calorimetry」(1998.5.9, 大阪)

- 11) 第29回熱測定ワークショップ
テーマ・オーガナイザー募集
- 12) 講演会「Enthalpy Standards for Thermal Analysis : Status and Future Demands」講師：Prof. Svein Stølen (Department of Chemistry, University of Oslo, NORWAY)
(1997.11.26, 東京)
- 13) 講演会
テーマ・オーガナイザー募集
- (2) 共催・協賛関係
協賛：第18回熱物性シンポジウム(主催：日本熱物性学会, 1997.10.22～24, 奈良)
日本学術会議第4回界面シンポジウム(主催：日本学術会議材料工学研究連絡委員会, 1997.10.27, 東京)
第8回中四国科学機器展, 第4回計測・制御・検査機器展(主催：日本工業新聞, 1998.5.20～21, 広島)

- (3) 出版関係
 - 1) 会誌「熱測定」の発行(Vol.24, No.5～Vol.25, No.3 各1250部)
 - 2) 英文「熱測定」の発行(Vol.25, No.4, 1500部)
 - 3) 「熱量測定・熱分析ハンドブック」の出版
- (4) グループ活動
 - 1) 熱測定応用研究グループ(主査：前田洋治)定期会合2回, 見学会1回, 会誌「熱測定応用研究の頁」に協力
 - 2) 熱力学データベース作業グループ(主査：山内 繁)前年度に準ずる
 - 3) 新規研究グループ募集
- (5) 国際協力
前年度に準ずる
- (6) 第4回国際および日中合同熱測定シンポジウム準備
(1999.6.2～4)
つくば工業技術院共用講堂, 準備委員会(委員長 中村茂夫)
- (7) その他
 - 1) 学会活動の活性化
 - 2) 学会財政建て直しへの取り組み

5. 1998年度 予算 (1997.10.1～1998.9.30)

項目	
収入	10,334,544
(1) 会費収入	5,371,000
正会員会費 777名	3,885,000
学生会費 42名	126,000
維持会費 68口	1,360,000
(2) 事業収入	4,750,000
会誌発行収入	2,150,000
広告料	1,500,000
別刷代金	400,000
購読料	250,000
討論会収入	300,000
講習会収入	2,300,000
(3) 雑収入	100,000
(4) 前年度繰越剰余金	113,544
支出	10,334,544
(1) 事業費	6,050,000
会誌発行費	5,500,000
(印刷費, 別刷, 原稿料, 発送費)	
研究グループ	80,000
WS・講演会	150,000
討論会準備金	200,000
国際協力費	20,000
日中シンポ準備金	100,000
(2) 管理費	4,068,000
会議費	400,000
交通費	900,000
事務局費	2,268,000
通信費	300,000
消耗品費	150,000
雑費	50,000
(3) 予備費	216,544
差し引き	0

1998年度特別会計 熱測定特別基金 6,351,787円

6. その他

関 集三 元会長に学会として感謝の気持ちを表すこと, 形式は幹事会に一任することが提案された。学会創立当初の他の会員とのバランスなどを含め, 幹事会で検討することになった。